清華ミニ16/24/V6Pro

取扱説明書



**株式会社日本テレソフト**



目次

[初めに 3](#_Toc410830495)

[1. 入門 3](#_Toc410830496)

[1.1 機器・付属品リスト 3](#_Toc410830497)

[1.2 機器の紹介 3](#_Toc410830498)

[1.3 電源スイッチとバッテリー 4](#_Toc410830499)

[1.4 ハードウェアの仕様 5](#_Toc410830500)

[2. 本商品の基本機能 6](#_Toc410830501)

[2.0.1 コマンドの使用方法 6](#_Toc410830502)

[2.0.2 基本機能 6](#_Toc410830503)

[2.1 メモ帳 7](#_Toc410830504)

[2.2 ファイル管理 14](#_Toc410830525)

[2.3 read 15](#_Toc410830530)

[2.4 USB接続 18](#_Toc410830539)

[2.5 Bluetooth 19](#_Toc410830540)

[2.6 時計 19](#_Toc410830541)

[2.7 電卓 20](#_Toc410830547)

[2.8 ツール 20](#_Toc410830548)

[3. Bluetooth接続の設定 23](#_Toc410830555)

[4. JAWSで本商品を使用する 24](#_Toc410830557)

[5. VoiceOverで本商品を使う 27](#_Toc410830565)

[6. NVDAで本商品を使用する 30](#_Toc410830569)

初めに

本商品16/24/V6Proをお買い上げいただきありがとうございます。 本商品は統合された点字キーボードを備えた16/24/40セルの携帯型点字ディスプレイです。 本商品をお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。 本商品の使用方法について追加のご質問がある方は、メール、FAXまたはお電話で販売店までお問い合わせください。

1. 入門

本商品はメモ帳をはじめとした 強力なツールを備えた16セルの携帯型点字ディスプレイです。本商品は携帯電話やPC、アップル製品とともに使用される主要なスクリーン・リーダーと互換性があり、ブルートゥースやUSBで接続して使用することができます。本商品には、メモ帳、ファイル管理、read、時計及び計算機アプリケーションが含まれています。

1.1 機器・付属品リスト

本商品パッケージを開封し、下記付属品がある事を確認してください。将来利用することを考慮し、箱や梱包品を保存しておいてください。

1. 携帯用レジャーケースに収められた本商品
2. 携帯用レザーケースに取り付けるネックストラップ
3. 電源アダプター（出力5V/1A）
4. Ctype USBケーブル
5. 本商品に装着済のマイクロSDカード
6. マイクロSDカードリーダー
7. USBディスク
8. 取扱説明書とドライバーを収めたCD
9. 取扱説明書

1.2 機器の紹介

本商品の総重量は300gです。大きさは16（幅）×9.6（奥行）×2.3（高さ）cmです。本商品24の総重量は545g、大きさは22（幅）

×9.6（奥行）×2.3（高さ）cmです。

本商品は内蔵された充電用電池、またはUSBケーブルで接続したACアダプターを介して動作します。 本商品は携帯用レザーケースに収められています。ケースを開くには折り曲げられた後部の端を持ち上げてそれを折り返してください。 本商品を平らな場所に、点字ディスプレイ部を手前にしておいてください。

左側面には奥から手前に向かって以下の物があります。

* 縦向きのUSBディスク用のUSBスロット
* 横向きのMicro SDカード用スロット
  + ミニにはMicro SDカードがすでに装着されています
  + カードの出し入れはそっと行ってください
  + Micro SDスロットには自動ロック機能があります
  + カードのロックを外すには、カードを押し込んで離してください
  + 機器の動作中にMicro SDカードを取り出さないでください
  + 開いているファイルが壊れる可能性があります
  + Micro SDカードを取り出す前にメモ帳で開いているファイルを閉じて本商品の電源を切ってください

右側面には奥から手前に向かって以下の物があります。

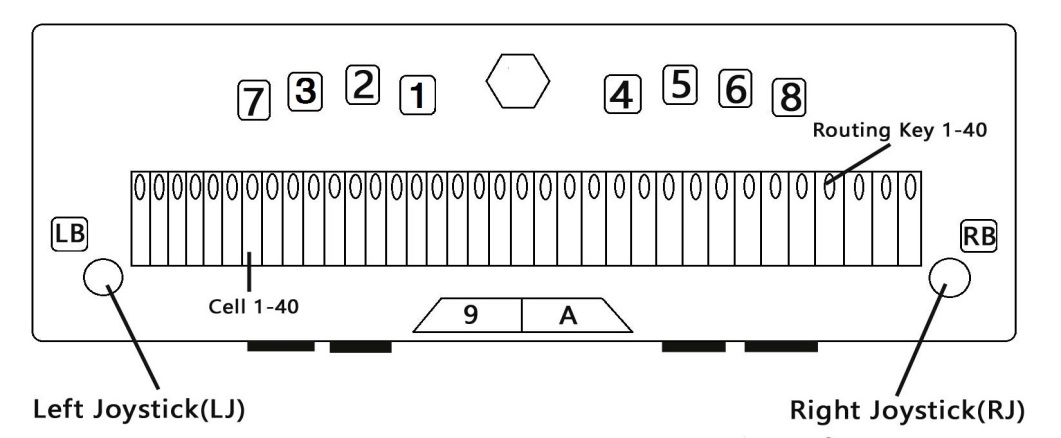
* Mini USBインターフェース
* 本商品の電源スイッチ
  + 電源を入れるには電源スイッチの手前を押してください

本商品の上面には以下のものがあります。

* 16セル/24セル/40セル（8点）のディスプレイ
* 点字セルの奥にそれぞれのセルに対応したカーソルスイッチ
  + これらはタッチカーソルボタンです
  + タッチカーソルは特に、文章を編集する際に有効です
  + 例えばメモ帳ではタッチカーソルを押すと該当する位置のセルにカーソルが移動します
  + 移動後はそのセルの文字を編集できます
  + タッチカーソルはメニューや一覧から項目を選択する際にも使用できます

点字セルの奥には1から8までの点字キーがあります。

点字セルの手前には、二つの並んだキーがあります。左は9（スペース）、右はA（スペース）です。 本商品には5方向（左、右、上、下及び真ん中）に動かすことのできるジョイスティックが二つあります。この取扱説明書では左のジョイスティックをLJ、右のジョイスティックをRJと表現しています。点字セルの両端には移動キーがあります。左ボタン（LB）と右ボタン（RB）です。



図）V6Pro

1.3 電源スイッチとバッテリー

本商品のケースの右側面の手前から奥に向かって手を動かしていくと、へこんだ長方形のフレームで囲まれた電源スイッチがあります。本商品の電源を入れるには、スイッチの手前側を押します。すぐに2度ビープ音が鳴り、点字ディスプレイには「メモ帳」が表示されます。これがメインメニューの最初の項目です。電源を切るときはスイッチの奥側を押してください。

1分以上本商品を使用しなかった場合は自動的にスリープモードに入ります。どのキーを押してもスリープモードを解除できますが、ジョイスティックの左または右を押すことをお勧めします。これにより、開いているドキュメントに誤って点を入力してしまうことを避けられます。スリープモードに入る待ち時間は1分から30分の間で設定できます。詳細は2.8.5 スリープまでの待ち時間の設定を参照してください。

本商品を1時間以上使用しなかった場合、開いているファイルは自動的に保存され（ファイル名が指定されていなければ「temp「という名前で保存され）メインメニューに戻ります。本商品を5時間以上使用しなかった場合は節約のために電源が切れ、キーを押しただけでは起動しないことにご注意ください。再び本商品を使用する場合は、一度電源を切ってから再度電源を入れてください。 本商品は内蔵充電池またはACアダプターで動作します。フル充電の充電池では本商品を10時間以上使用することができます。USBディスクやBluetoothを使用する場合、バッテリーの消耗が早くなります。

バッテリー残量が15％を下回ると、「xx％ 充電してください」というメッセージが表示され、ACアダプターを接続したことを示す「ミ-ラ-ド」というビープ音が8分ごとに表示されます。電源ソケットはミニUSBソケットで、右側の電源スイッチの後ろにあります。 USBケーブルの小さい方の端を本商品に差し込み、USBケーブルの大きい方の端をACアダプターのUSBポートに差し込みます。 ACアダプターを正常に接続すると、「充電中 xx％」と表示され、バッテリーが充電中であることを示すビープ音「ド-ミ」が聞こえます。バッテリー残量が5％を下回ると、本商品は自動的にシャットダウンして「ファ-ミ-ラ-ド」というビープ音を鳴らします。ルートディレクトリに「TEMP0000.TXT」という名前の現在の編集ファイルが保存されます。バッテリーが切れていてACアダプターが接続されている場合、バッテリーは約4時間で充電されます。充電時間はバッテリーの残量によって短くなります。充電中に本商品を並行して使用することもできますが、充電時間は長くなります。バッテリーが正しく充電されていることを確認してください。バッテリーは周囲の温度が5度から35度までの間で充電してください。

1.4 ハードウェアの仕様

* メモリー拡張： マイクロSDカード及びUSB
* CPU： ARM
* バッテリー： リチウムイオン式バッテリー
* キーボード： 8点点字キーボード、2個の移動用キー、16/24/40個のタッチカーソルキー、2個の移動用ジョイスティック、2個のスペースキー。
* 点字ディスプレイ： 16/24/40リフレッシャブル8点セル
* ワイヤレス： Bluetooth
* インターフェース： USB、Ctype USBマイクロSDカードスロット

1. 本商品の基本機能

2.0.1 コマンドの使用方法

本商品で使用されているすべてのコマンドは点字キーの組み合わせで構成されています。この取扱説明書において、「+」記号はキーの組み合わせを示すために使用します。 例えば「スペース+Z」は、スペースキーを押しながら点字の文字Z（1-3-5-6の点）を同時に押してすぐに離すことを意味します。 ほとんどのコマンドは「エンター」ボタン（ジョイスティックの真ん中または8の点を押す）で実行できます。 コマンドの実行をキャンセルするか前の状態に戻りたい場合は「スペース+エンター」ボタン（1-5の点+スペース）を押します。

2.0.2 基本機能

本商品の電源を入れると、ビープ音が2回鳴り、メインメニューの最初の項目「メモ帳」が点字ディスプレイに表示されます。メインメニューには、メモ帳、ファイル管理、read、USB接続、ブルートゥース、時計、電卓、ツールがあります。メインメニュー内の項目をスクロールするにはジョイスティック上下を使用し、項目を選択するにはエンターまたはジョイスティック右またはカーソルルーティングキーを押します。最初の文字を入力して対応する項目にジャンプすることができます。たとえば、文字「r」（1-2-3-5の点）を押すと、「read」モードにジャンプします。メニューリスト外に移動しようとすると、ユニットはアラームを1回鳴らします。注：時計と電卓のメニューの頭文字は同じなので、電卓に直接ジャンプするには文字「a」を入力します。たとえば、いくつかのメニュー項目にはサブメニューがあります。たとえば、「ツール」項目を開くと、「ツール」は省略記号で父親オブジェクト「tls」として表示され、サブメニューは句読記号>の後に表示されます。 TLS>電源。サブメニューの「電源」を実行するには、エンターキーまたはジョイスティック右を押すか、サブメニューの「電源」の上にあるカーソルルーティングキーを押します。メインメニューに戻るには、ジョイスティック左、バックスペース、またはスペース+e（1-5+ スペース）を押すか、「tls」の上のカーソルルーティングキーを押します。ツリービューは、Micro SDカードとUSBディスク上のフォルダとファイルの構造を表示するために使用されます。ファイル名は文字fで始まり、フォルダ名は文字dで始まります。フォルダでエンターまたはジョイスティック右を押すと、このフォルダ内のファイルリストが表示されます。ファイルに対してエンターキーを押すと、ファイルが開きます。ファイルを閉じてフォルダに戻りたい場合は、バックスペース（7）またはスペース+e（1-5 + スペース）またはジョイスティック左を押します。メニューリスト外に移動しようとすると、本商品は一度警報を鳴らします。テキスト、brlファイル、ファイル、フォルダ名は6点または8点点字で表示、編集します。メモ帳、読み取り、ツリー表示でスペース+p（1-2-3-4 + スペース）を押すと、6/8点の点字を切り替えることができます。 スペース + '8'（2-3-6 + スペース）を押して8点点字テーブルを選択し、スペース + '6'（2-3-5 + スペース）を押して6点点字テーブルを選択することもできます。 6/8点の切り替えに成功すると、本商品が1回鳴り、点字コードがすぐに変わります。本商品は、いくつかの言語とそれに対応する点字テーブルを利用できます。メインメニューでスペース + l（1-2-3 + スぺース）を押して、異なる言語に点字表を切り替えます。

ジョイスティック上およびジョイスティック下を押して、異なる言語間をスクロールします。

「英語（USA）」、「英語」、「イタリア語」、「フランス語」、

「アラビア語」、「ドイツ語」、「クロアチア語」、「ノルウェー語」、「日本語」、「広東語」、「ベトナム語」、「台湾」、「エスパオル」、「トルコ語」、「中国語」、「オランダ語」、「ポルトガル語」、「スウェーデン語」を選択し、エンターキーを押して選択します。また、スペース+e（1-5+スペース）を押して言語の切り替えや点字表をキャンセルすることもできます。 スペース+ バックスペース + エンター + i（2-4-7-8 + スペース）を使用すると、本商品のステータスの詳細情報を取得できます。 8点点字、ビープ音のオン/オフ、電池残量、充電状態、USB接続の有無、および現在の国の点字表たとえば、本商品の状態は次のように表示されます。 6点点字テーブル、ビープ音が鳴っている、バッテリー残量が50％、バッテリーが充電されていない、本商品がUSBケーブルでPCに接続されていないなどの意味です。現在時刻を取得するには、スペース+ t（2-3-4-5 + スペース）を押します。

2.1 メモ帳

メモ帳では簡単なファイル作成と編集ができます。それぞれのファイルは900kバイトを超えることはできません。 メモ帳は長いファイル名と複数レベルのフォルダーをサポートしています。 ファイル名が長すぎて一度に表示できない場合、左ボタンまたは右ボタンを使ってファイル名全体、ファイルサイズ、更新日、時間を表示できます。 すべてのファイル名は6点点字で表示及び編集されます。

メモ帳を使用するにはカードスロットにSDカードを入れておくか（本商品購入時にすでに装着されています）、USBスロットにUSBディスクを入れておく必要があります。 メモ帳には「マイクロSDカード」と「USB」の二つのサブメニューがあります。 メモ帳アプリケーションを起動したら、SDカードかUSBディスクのどちらかを選択する必要があります。 すると本商品は、マイクロSDカードかUSBディスクに入っている最初のファイル名を「help\_en.txt」のように表示します。 ジョイスティックの上またはジョイスティックの下を使ってファイル名間を移動し、エンターまたは項目の上のタッチカーソルキーを押して選択します。 また、バックスペースまたはジョイスティックの左、スペース+E（1-5の点+スペース）を使って前に戻ります。 マイクロSDカードやUSBディスクにファイルがなければ、本商品は「なにもありません」と表示します。 エンターかスペース＋E（1-5の点+スペース）を押すとメニューに戻ります。

すべての点字ファイル（BRLまたはBRF等）は6点点字で表示及び編集されます。 TXTファイルは8点点字で表示及び編集されます。 スペース+P（1-2-3-4の点+スペース）を押すと6点点字と8点点字を切り替えることができます。BESファイルを編集することはできませんので、スペース+エンター+t（2-3-4-5-8の点+スペース）でbrlファイルに変換（作成）してから各操作を行ってください。このコマンドを使用しても元のBESファイルは残った状態となります。

ファイル名には、次の記号を使用できません：「|、\、<,>、？,：\*」

フォルダ名には、次の記号を使用できません：「.、|、\、<,>、？,：\*」

注記：本商品の電源をオフさせる前に、SDカードやUSBディスクを抜かないでください。

注記：ファイル名とフォルダ名は、6点/8点表示を、ファイル名は6点/8点入力もサポートします。

2.1.1 新規ファイル（スペース+N；1-3-4-5の点+スペース）

このコマンドを使用すると、すべての開いているドキュメントを閉じてただちに編集可能な新規ドキュメントを開きます。 保存されていないドキュメントがある場合、保存するかどうかを確認するプロンプトが表示されます。 スペース＋N（1-3-4-5の点+スペース）を押してただちに編集可能なドキュメントを開始し、少し入力を行った後にスペース＋S（2-3-4の点+スペース）を押して現在のフォルダーにファイルを保存しようとすると、本商品は「ファイル名を入力」というプロンプトを表示します。 ファイル名・拡張子名を入力してエンターを押すと、「保存されました」と表示され、ファイルの本文に戻ります。 ファイル名だけを入力してエンターを押した場合、本商品は自動的に初期状態の拡張子（brl）をファイル名に追記します。ファイル名は最大100文字入力することができます。 スペース＋E（1-5の点+スペース）を押すと、ファイル名の入力をキャンセルして現在のファイルに戻り、編集を続けることができます。ファイル名やフォルダ名は、アルファベットにのみ対応しております。

2.1.2 フォルダを作成（スペース+エンター+n；1-3-4-5+スペース+エンター）

フォルダーを作成するには、ファイル一覧を開いている時、スペース+エンター+n （1-3-4-5-8の点+スペース）を押します。「フォルダ名を入力」と表示されるので、入力後、エンターを押してください。（最大8文字まで入力可能）

2.1.3 ファイルを閉じる（スペース+E；1-5の点+スペース）

このコマンドを使用すると、開いているすべてのドキュメントを閉じます。

開いているドキュメントがあり、スペース＋E（1-5の点+スペース）を押してドキュメントを終了しようとした場合、そのドキュメントを保存するかを確認するプロンプトが表示されます。 本商品は「保存しますか y n c（yは保存、nは保存しないで終了、cはキャンセルして現在開いているファイルに戻る）」というプロンプトを表示します。 ジョイスティックの左やジョイスティックの右を押してカーソルをyまたはnまたはcのいずれかに移動させエンターキーを押すか、直接yまたはnまたはcを入力してコマンドを完了させます。 ファイルを終了するとき、本商品は自動的にマークを設定します。 次に同じファイルを再度開いた時は、マークのある同じ場所から開始します。

2.1.4 ファイルを保存（スペース+s; 2-3-4の点+スペース）

このコマンドを使用すると、現在の名前でドキュメントを保存します。 既に名前が付いている場合、スペース+s（2-3-4の点+スペース）を押すと、本商品は「保存されました」というプロンプトを表示し、編集していたファイルの本文に戻ります。まだドキュメントに名前が付けていない場合は、ファイル名を入力するプロンプトが表示されます。スペース+s（2-3-4の点+スペース）を押すと、本商品は「ファイル名を入力」というプロンプトを表示します。 ファイル名を入力してエンターを押すと、「保存されました」と表示され、編集していたファイルの本文に戻ることができます。ファイル名だけを入力してエンターを押すと、本商品はファイル名にデフォルトの拡張子を自動的に追加します。 また、スペース+e（1-5の点+スペース）を押すことで、ファイル作成をキャンセルして現在のファイルの編集を続けることもできます。

別のフォルダに新しいファイルを保存したい場合は、ファイルを保存する前にフォルダを選択してください。ファイルを保存したいフォルダを選択してエンターを押します。

2.1.5 別のフォルダにファイルを保存（スペース+エンター+s; 2-3-4の点+スペース+エンター)

このコマンドは、異なるフォルダにファイルを保存することができます。ファイルを編集している時、スペース+ エンター + s（2-3-4の点 + スペース + エンター）を押すと、ファイル一覧が表示され、保存したいフォルダを選択し、スペース+ エンター + s （2-3-4の点 + スペース+ エンター）を再度押すと「保存されました」と表示され、現在のファイルの本文に戻ります。スペース +e （1-5の点+ スペース）を押すと、このコマンドはキャンセルされます。

2.1.6 すぐに終了（スペース+q; 1-2-3-4-5の点+スペース）

このコマンドを使用すると、開いているすべてのドキュメントを閉じてメインメニューに戻ります。 保存されていないドキュメントがある場合、保存するためのプロンプトが表示されます。 ファイルを終了するとき、本商品は自動的にマークを設定します。 次に同じファイルを再度開いた時は、マークのある同じ場所から開始します。

2.1.7 検索（スペース+f; 1-2-4の点+スペース）

このコマンドを使用すると、カーソル位置から前後に向かって文字列を検索することができます。 検索を実行するには、スペース+ f（1-2-4の点+スペース）を押します。 本商品は「検索文字を入力」というプロンプトを表示します。 （例えば「mini」のような）文字列を入力してエンターを押すと検索が開始されます。

2.1.8 次を検索（スペース+エンター+f; 1-2-4の点+スペース+ エンター）

これは（検索コマンドに入力した単語を）文末に向かって再検索する機能です。これ以上検索した単語がない場合、「みつかりません」と表示されます。

2.1.9 前を検索（スペース+バックスペース+f; 1-2-4の点+スペース+バックスペース）

これは（検索コマンドに入力した単語を）文頭に向かって再検索する機能です。

2.1.10 マークを設定（スペース+m; 1-3-4+スペース）

このコマンドを使用すると、ドキュメント内の戻りたい場所に、マークを設定できます。

これにより、ドキュメントを閉じて再度開いても同じ場所に戻ることができます。このコマンドを実行するには、 設定したい箇所にカーソルを動かし、スペース+mを押します。

マークの位置はマイクロSDカードやUSBディスク内の隠しファイルに保存されます。ひとつのドキュメントに、10個までマークを設定することができます。

2.1.11 マークに移動（スペース+j; 2-4-5の点+スペース）

このコマンドを実行するとマークの位置に移動することができます。 注記： ファイルを編集中にマイクロSDカードを抜き取らないでください。 マイクロSDカードを取り外す必要がある場合は、本商品の電源を切ってください。

2.1.12 マークを削除 (スペース+エンター+d; 1-4-5-8 の点+ スペース)

マークに移動してから、スペース+エンター+d (1-4-5-8の点 + スペース)を押すと、設定したマークは削除されます。

2.1.13 範囲選択 (スペース+エンター; 8の点 + スペース)

テキストを範囲選択することができます。始点にカーソルを持って行き、スペース+エンターを押すと、そのセルの点は全て点滅します。終点にカーソルを移動させ、再度スペース+ エンターを押すと、選択箇所の7-8の点が全て上がり、範囲選択が完了します。

スペース+バックスペース（7+スペース）を押すと、選ばれたテキストの始点をキャンセルし、選ばれた範囲選択もキャンセルできる。タッチカーソルキーを押すと、選ばれた範囲選択を破棄できる。

2.1.14 コピー(スペース+c; 1-4の点 +スペース)

範囲選択したものをクリップボードにコピーするには、スペース+c (1-4の点+スペース)を押します。

2.1.15 ペースト (スペース+v; 1-2-3-6の点+スペース)

クリップボードから現在のカーソルの位置にテキストをペーストするために、スペース+v（1-2-3-6の点+スペース）を押します。

2.1.16 カット (スペース+x; 1-3-4-6の点+スペース)

編集中のドキュメントを、スペース+x（1-3-4-6の点+スペース）を押してカットすることができます。

カットとコピーの違い：

カットコマンドを実行すると、選択したテキストがクリップボードの方へ移動し、選択は文書から取り除かれます。

コピーコマンドは単に選択したテキストをクリップボードへコピーします。元のテキストはドキュメントの中に残ります。

2.1.17 削除(バックスペース, スペース+d; 7, 1-4-5の点+スペース)

前の文字を削除する時は、バックスペース（7）を押してください。

次の文字を削除するには（1-4-5の点+スペース）を押してください。

範囲選択を削除するには、バックスペース（7）もしくは、スペース+d （1-4-5の点+スペース）を押してください。

2.1.18 元に戻す[Undo]（スペース+z；1-3-5-6の点+スペース）

カット、ペースト、削除した文章を、スペース+z（1-3-5-6+スペース）で元に戻すことができます。

元に戻す操作をキャンセルする場合は、再度スペース+zを押します。

2.1.19 カーソルの位置確認 (スペース+ =; 1-2-3-4-5-6の点+スペース)

ファイルの編集中や読書中に、スペース+=（1-2-3-4-5-6の点 +スペース）を押すことで、現在のカーソルの位置を確認することができます。本商品はパーセンテージを表示します。

2.1.20 ファイルのコピー (スペース+c; 1-4+スペース), カット (スペース+x; 1-3-4-6+スペース) ,ペースト (スペース+v; 1-2-3-6+スペース)

異なるフォルダー間や、SDカード/USBディスク間で、コピー・カット・ペーストができます。

選択されたファイルをクリップボードにコピーするには、スペース+c（1-4の点+スペース）を押します。

ファイルをクリップボードにカットするには、スペース+x（1-3-4-6の点+スペース）押します。

ファイルをクリップボードから現在のフォルダーの場所にペーストするにはスペース+v（1-2-3-6の点+スペース）を押します。

2.1.21 ファイルを削除 (スペース + d; 1-4-5 + スペース)

この機能は、ファイルやフォルダを削除できます。削除したいファイルやフォルダ上で、スペース+d（1-4-5の点+スペース）というコマンドを押すと、ミニには「削除しますか？（y n）」と表示されます。 エンターを押すとファイルが削除され、nを選択、もしくはスペース+e（1-5の点+スペース）を押すと削除をキャンセルできます。 注記： フォルダを削除したい場合は、まずそのフォルダ内のファイルをすべて削除してください。

2.1.22 名前変更(スペース +r; 1-2-3-5 + スペース)

スペース+r（1-2-3-5の点+スペース）を押すと、ミニはファイルやフォルダの新しい名前を入力するプロンプトを表示します。 名前の編集が終了したら、エンターを押して新しいファイルやフォルダ名で保存します。 現在のフォルダ内に同じファイルまたはフォルダ名がある場合、ミニは「すでに存在しています」と表示します。 エンターを押すと置き換えられ、スペース+e（1-5の点+スペース）を押すとファイル名の変更がキャンセルされます。

注記：フォルダ名は8文字以内にしてください。

2.1.23 自動スクロール (スペース + RJ右)

自動スクロールコマンドは点字表示を自動的にスクロールします。 スペース+RJ右を押すと自動スクロールを有効化できます。 エンターもしくはスペース+e（1-5の点+スペース）を押すと自動スクロールを停止できます。 スクロール速度を上げるにはRJ右を押します。 スクロール速度を下げるにはRJ左を押します。

点字とホットキーの概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **機能** | **ホットキー** | **点字** |
| スペース |  | 9, A, 9A |
| バックスペース |  | 7 |
| エンター | ジョイスティックの真ん中 | 8 |
| エスケープ | スペース+e | 1-5の点+スペース |
| すぐに終了してメインメニューに戻る | スペース+q | 1-2-3-4-5の点+スペース |
| 新規ファイル | スペース+n | 1-3-4-5の点+スペース |
| 新規フォルダー | スペース+エンター+n | 1-3-4-5-8の点+ スペース |
| 名前変更 | スペース +r | 1-2-3-5の点+ スペース |
| ファイルを保存 | スペース+s | 2-3-4の点+スペース |
| 別のフォルダにファイルを保存 | スペース+ エンター + s | 2-3-4 + エンター +スペース |
| 6点/8点表示切替 | スペース+p | 1-2-3-4の点+スペース |
| 6点表示切替 | スペース+6 | 2-3-5+スペース |
| 8点表示切替 | スペース+8 | 2-3-6+スペース |
| 現在時刻を表示 | スペース+t | 2-3-4-5の点+スペース |
| ステータスの詳細情報を取得 | スペース+バックスペース+エンター+i | 2-4-7-8+スペース |
| 自動スクロールを開始 | スペース + RJ右 |  |
| 自動スクロールを停止 | エンター | 8 |
| 自動スクロール速度を上げる | RJ右 |  |
| 自動スクロール速度を下げる | RJ左 |  |
| BESファイルをbrlファイルに変換 | スペース+エンター+t | 2-3-4-5-8の点+スペース |

編集コマンド

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **機能** | **ホットキー** | **点字** |
| 点字キー |  | 1から8の点 |
| スペース |  | 9, A, 9A |
| バックスペース |  | 7 |
| エンター | ジョイスティックの真ん中 | 8 |
| ファイルを閉じる | スペース+e | 1-5の点+スペース |
| 1文字右を削除 | スペース+d | 1-4-5の点+スペース |
| 検索 | スペース+f | 1-2-4の点+スペース |
| 次の単語を検索 | スペース+エンター+f | 1-2-4の点+スペース+エンター |
| 前の単語を検索 | スペース+バックスペース+f | 1-2-4の点+スペース+バックスペース |
| マークを設定 | スペース+m | 1-3-4の点+スペース |
| マークに移動 | スペース+j | 2-4-5の点+スペース |
| マークを削除 | スペース+エンター+d | 1-4-5-8 の点+ スペース |
| 次のマークに移動 | スペース+エンター+j | 2-4-5-8の点 + スペース |
| 前のマークに移動 | スペース+バックスペース+j | 2-4-5-7の点+スペース |
| 範囲選択の始点/終点を設定 | スペース+エンター | 8の点+スペース |
| 範囲選択をキャンセル | スペース+バックスペース | ７の点+スペース |
| カット | スペース+x | 1-3-4-6の点+スペース |
| 削除 | スペース+d | 1-4-5の点 + スペース |
| コピー | スペース+c | 1-4の点+スペース |
| ペースト | スペース+v | 1-2-3-6の点+スペース |
| 元に戻す[Undo] | スペース+z | 1-3-5-6の点+スペース |
| カーソルの位置確認 | スペース+= | 1-2-3-4-5-6 の点+ スペース |

移動用コマンド

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **機能** | **ホットキー** | **点字** |
| 表示を左にパン（1行示上にスクロール） | LB |  |
| 表示を右にパン（1行下にスクロール） | RB |  |
| ページアップ（5行上にスクロール） | スペース+LJ左 | 1-3の点+スペース |
| ページダウン（5行下にスクロール | スペース+LJ右 | 4-6の点+スペース |
| 次の単語に移動 | LJ右 | 5の点+スペース |
| 前の単語に移動 | LJ左 | 2の点+スペース |
| 前の文の先頭に移動 | RJ上 | 1の点+スペース |
| 次の文の先頭に移動 | RJ下 | 4の点+スペース |
| 現在の文の先頭に移動 |  | 1-4の点+スペース |
| 前の段落の先頭に移動 | LJ上 | 2-3の点+スペース |
| 次の段落の先頭に移動 | LJ下 | 5-6の点+スペース |
| 現在の段落の先頭に移動 |  | 2-3-5-6の点+スペース |
| ドキュメントの文頭に移動 | スペース+LJ上 | 1-2-3の点+スペース |
| ドキュメントの文末に移動 | スペース+LJ下 | 4-5-6の点+スペース |
| 左に移動 | RJ左 | 3の点+スペース |
| 右に移動 | RJ右 | 6の点+スペース |
| 対応するセルに移動 | タッチカーソルボタン1から16 |  |

2.2 ファイル管理

この機能は、マイクロSDカード及びUSBディスクのファイルやフォルダの管理を可能にします。 最初に、SDカードかUSBを選択する必要があります。

ふぁいるかんり> sd

ふぁいるかんり> usb

2.2.1 新規ファイル （スペース+n; 1-3-4-5の点+スペース）新規フォルダ（スペース+エンター+n；1-3-4-5+スペース+エンター）

2.1.1と2.1.2を参照してください。

2.2.2 コピー（スペース+c; 1-4の点+スペース）カット（スペース+x; 1-3-4-6の点+スペース）ペースト（スペース+v; 1-2-3-6の点+スペース）

2.1.20を参照

2.2.3 削除（スペース+d; 1-4-5の点+スペース）

2.1.21を参照

2.2.4 名前変更（スペース+r; 1-2-3-5の点+スペース）

2.1.22を参照

2.2.5 ファイルを検索 （スペース+f; 1-2-4の点+スペース）

ファイル一覧を開いている時、ファイルを検索することができます。このコマンドを実行すると、「検索文字を入力」と表示されるので、ファイル名のキーワードを入力した後、エンターを押すと、マッチングしたファイルが表示されます。もしマッチングしたファイルがなければ、一度だけビープ音がなります。

2.2.6 次のファイルを検索（スペース+f+エンター; 1-2-4の点+スペース+エンター）

前の項目でファイルを検索した後、続けて同じキーワードを含む次のファイルを検索した場合は、スペース+エンター+f (1-2-4-8の点+スペース)を押します。このコマンドを実行する前に“ファイルを検索”を実行していない場合、ビープ音がなります。マッチングファイルがない場合もビープ音がなります。

2.2.7 前のファイルを検索（スペース+f+バックスペース; 1-2-4の点+スペース+バックスペース）

スペース+f (1-2-4の点+スペース) でファイルを検索した後、同じキーワードを含む前のファイルを検索した場合は、スペース+バックスペース+f (1-2-4-7の点+スペース)を押します。このコマンドを実行する前に“ファイルを検索”を実行していない場合、ビープ音がなります。マッチングファイルがない場合もビープ音がなります。

ファイル管理コマンド：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **機能** | **ホットキー** | **点字** |
| 新しいファイルの作成 | スペース+n | 1-3-4-5の点+スペース |
| 新しいフォルダの作成 | スペース+n | 1-3-4-5の点+スペース+エンター |
| ファイルまたはフォルダの削除 | スペース+d | 1-4-5の点+スペース |
| ファイルまたはフォルダ名の変更 | スペース+r | 1-2-3-5+スペース |
| ファイルをコピー | スペース+c | 1-4+スペース |
| ファイルをカット | スペース+x | 1-3-4-6+スペース |
| ファイルをペースト | スペース+v | 1-2-3-6+スペース |
| ファイルを検索 | スペース+f | 1-2-4の点+スペース |
| 次のファイルを検索 | スペース+エンター+f | 1-2-4-8の点+スペース |
| 前のファイルを検索 | スペース+バックスペース+f | 1-2-4-7の点+スペース |

2.3 read

read機能ではUSBディスクまたはSDカード内のファイルを読むことができます。ファイルサイズに制限はありません。 read機能を使用するには、カードスロットにマイクロSDカードを装着するか、USBスロットにUSBディスクを装着する必要があります。 ミニは、拡張子がbrl、brf、bse、bes、txt（英語のみ）等のファイルを読むことができます。 ファイルの拡張子がtxtの場合、表示設定の初期値は8点点字になります。 ファイルの拡張子がbrl、brf、bseまたはそれ以外の場合、ディスプレイ設定の初期値は6点点字になります。 本商品は長いファイル名と複数階層のフォルダをサポートしています。 ファイル名が一度にディスプレイに表示できない場合、LB及びRBを押すとファイル名全体、ファイルサイズ、更新時刻及び日付を表示できます。 ファイルを終了すると、現在位置にマークが自動的に追加されます。

readには二つのサブメニュー項目、SDカードとusbがあります。 SDカードかUSBディスクのファイルを読むにはいずれかの項目を選択してください。

注記：besファイルは最大1MBまでサポートしています

2.3.1 自動スクロール（スペース+RJ右)

自動スクロールコマンドは点字表示を自動的にスクロールします。 スペース+RJ右を押すと自動スクロールを有効化できます。 エンターもしくはスペース+e（1-5の点+スペース）を押すと自動スクロールを停止できます。 スクロール速度を早くするにはRJ右、LJ右を押します。 スクロール速度を遅くするにはRJ左、LJ左を押します。

2.3.2 ファイルを閉じる（スペース+E；1-5の点+スペース）

このコマンドを使用すると、開いているすべてのドキュメントを閉じます。

ファイルを終了するとき、本商品は自動的にマークを設定します。 次に同じファイルを再度開いた時は、マークのある同じ場所から開始します。※BESファイルは、自動的にマークが設定されません。Brlに変換後、操作してください。

2.3.3 すぐに終了（スペース+q; 1-2-3-4-5の点+スペース）

このコマンドを使用すると、開いているすべてのドキュメントを閉じてメインメニューに戻ります。

ファイルを終了するとき、本商品は自動的にマークを設定します。 次に同じファイルを再度開いた時は、マークのある同じ場所から開始します。※BESファイルは、自動的にマークが設定されません。Brlに変換後、操作してください。

2.3.4 検索（スペース+f; 1-2-4の点+スペース）

このコマンドを使用すると、カーソル位置から前後に向かって文字列を検索することができます。 検索を実行するには、スペース+ f（1-2-4の点+スペース）を押します。 本商品は「検索文字を入力」というプロンプトを表示します。 （例えば「mini」のような）文字列を入力してエンターを押すと検索が開始されます。※BESファイルでは、この機能は使用できません。Brlに変換後、操作してください。

2.3.5 次を検索（スペース+エンター+f; 1-2-4の点+スペース+エンター）

これは（検索コマンドに入力した単語を）文末に向かって再検索する機能です。検索コマンドを実行していない場合、ビープ音が鳴ります。

※BESファイルでは、この機能は使用できません。Brlに変換後、操作してください。

2.3.6 前を検索（スペース+バックスペース+f; 1-2-4の点+スペース+バックスペース）

これは（検索コマンドに入力した単語を）文頭に向かって再検索する機能です。

※BESファイルでは、この機能は使用できません。Brlに変換後、操作してください。

2.3.7 マークを設定（スペース+m; 1-3-4+スペース）

このコマンドを使用すると、ドキュメント内のカーソル位置をマークとして設定できます。 これにより、ドキュメントを閉じて再度開いても同じ場所に戻ることができます。 マークの位置はマイクロSDカードやUSBディスク内の隠しファイルに保存されます。

ひとつのドキュメントに、10個までマークを設定することができます。

※BESファイルでは、この機能は使用できません。Brlに変換後、操作してください。

2.3.8 マークに移動（スペース+j; 2-4-5の点+スペース）

このコマンドを実行するとマーク位置に移動することができます。 注記： ファイルを編集中にマイクロSDカードを抜き取らないでください。 マイクロSDカードを取り外す必要がある場合は、本商品の電源を切ってください。

次のマークに移動する時は、 スペース+jを押してください。 前のマークに移動する時は、スペース+バックスペース+j（2-4-5-7の点+スペース+バックスペース）を押してください。

※BESファイルでは、この機能は使用できません。Brlに変換後、操作してください。

注記：本商品の電源をオフさせる前に、SDカードやUSBディスクを抜かないでください。

Read用コマンド：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **機能** | **ホットキー** | **点字** |
| 表示を左にパン（1行示上にスクロール） | LB |  |
| 表示を右にパン（1行下にスクロール） | RB |  |
| ページアップ（5行左にスクロール） | スペース+LJ左 | 1-3の点+スペース |
| ページダウン（5行右にスクロール | スペース+LJ右 | 4-6の点+スペース |
| 6点表示切替 | スペース+6 | 2-3-5の点+スペース |
| 8点表示切替 | スペース+8 | 2-3-6の点+スペース |
| 2級点字切替（英語のtxtドキュメントのみ） | スペース+g | 1-2-4-5の点+スペース |
| エスケープ | スペース+e | 1-5の点+スペース |
| 自動スクロール開始 | スペース+RJ右 |  |
| 自動スクロール停止 | エンター |  |
| 自動スクロール速度を早く | RJ右 |  |
| 自動スクロール速度を遅く | RJ左 |  |
| 終了してメインメニューに戻る | スペース+q | 1-2-3-4-5の点+スペース |
| 現在時刻を表示 | スペース+t | 2-3-4-5の点+スペース |
| 検索 | スペース+f | 1-2-4+スペース |
| 次の単語を検索 | スペース+エンター+f | 1-2-4の点+スペース+エンター |
| 前の単語を検索 | スペース+バックスペース+f | 1-2-4の点+スペース+バックスペース |
| マークを設定 | スペース+m | 1-3-4の点+スペース |
| マークに移動 | スペース+j | 2-4-5の点+スペース |
| マークを削除 | スペース+エンター+d | 1-4-5-8の点 + スペース |
| 前の文の先頭に移動 | RJ上 | 1の点+スペース |
| 次の文の先頭に移動 | RJ下 | 4の点+スペース |
| 現在の文の先頭に移動 | スペース+c | 1-4の点+スペース |
| 前の段落の先頭に移動 | LJ上 | 2-3の点+スペース |
| 次の段落の先頭に移動 | LJ下 | 5-6の点+スペース |
| ドキュメントの文頭に移動 | スペース+LJ上 | 1-2-3の点+スペース |
| ドキュメントの文末に移動 | スペース+LJ下 | 4-5-6の点+スペース |
| BESファイルをbrlファイルに変換 | スペース+エンター+t | 2-3-4-5-8の点+スペース |

注記：“現在の文の先頭に移動”コマンドは、“コピー”コマンドと同じスペース+cで実行します。範囲選択をしている時はコピーが実行され、他の場合は“現在の文の先頭に移動”コマンドが実行されます。

2.4 USB接続（メニュー4番目）

このアプリケーションによって、本商品をPCの入出力インターフェースとして使用できます。 USBケーブルで接続を行い、PCまたはApple機器のスクリーン・リーダーを起動する必要があります。 本商品はPC-Talker（オプションのBrailleWorksが必要です）、NVDA、JAWS、ブレイルスター及びVoiceOverをサポートしています。

このアプリケーションを開始すると、本商品は「接続中」と表示します。 その後にお使いのスクリーン・リーダーを起動してください。

すでに接続設定を行っている場合、簡単に接続することができます。 本商品を開始後、なにもキーに触れずにUSBケーブルで接続し、PCまたはApple機器のスクリーン・リーダーを開始してください。

2.5 Bluetooth

このアプリケーションによって、本商品のBluetoothインターフェースを使用できます。 このアプリケーションを開始すると、ミニは「接続中」と表示し、2秒後に「ブルートゥーtsm \*\*\*\*（\*はBluetoothのシリアル番号）」と表示します。このシリアル番号は同じ部屋に複数のミニがあるような場合に必要になります。

本商品のBluetoothピンを入力するように求められた場合、接続を設定するために「0000」を入力し、「ペアリング」を押してください。

すでに接続設定を行っている場合、簡単に接続することができます。 本商品を開始後、なにもキーに触れずにPCまたは携帯電話のスクリーン・リーダーを起動してください。

JAWS、VoiceOver、ブレイルスター、PC-Talker（オプションのBrailleWorksが必要です）をサポートしています。

2.6 時計

このアプリケーションは時刻と日付を表示します。 5個のサブメニューがあります。日付や時間は下がり数字で表示されます。下がり数字とは、通常の数字より1段下がった数字です。

2.6.1 現在の時刻の表示

とけい とけい

エンターを押すと、現在の時刻が表示されます。例えば現在時刻が16:20:12の場合、本商品は24時間設定では cl>16h20m12s と表示し、12時間設定では cl>04h20m12s と表示します。 エンターまたはスペース+e（1-5の点+スペース）を押すとエスケープできます。

2.6.2 現在の日付の表示

とけい ひ

エンターを押すと、現在の日付が表示されます。例えば現在の日付が 2012年6月25日土曜日の場合、本商品は cl>sat 25d06m12yと表示します。 エンターまたはスペース+e（1-5の点+スペース）を押すとエスケープできます。

2.6.3 時刻設定

とけい じこくせってい

エンターを押して時刻設定を開始し、時、分、秒及び午前/午後を変更します。 時間は下がり数字でご入力ください。ジョイスティック左及びジョイスティック右を押してカーソルを移動します。 新しい設定を有効化するにはエンターキーを押し、キャンセルするにはスペース+e（1-5の点+スペース）を押してください。

2.6.4 日付設定

とけい ひづけせってい

エンターを押して日付設定を開始し、日、月、年を変更します。日にちは下がり数字でご入力ください。 ジョイスティック左及びジョイスティック右を押してカーソルを移動します。 新しい設定を有効化するにはエンターキーを押し、キャンセルするにはスペース+e（1-5の点+スペース）を押してください。

2.6.5 時間表示

とけい じかんひょーじ24+

エンターを押して時間の表示形式を設定します。 ミニには「12 24」と表示されます。 ジョイスティック左及びジョイスティック右を押してカーソルを動かし、12時間制表示と24時間制表示を選択します。 新しい設定を有効化するにはエンターキーを押し、キャンセルするにはスペース+e（1-5の点+スペース）を押してください。 初期状態では12時間制に設定されています。

2.7 電卓

電卓を使用すると、加算、減算、乗算、除算などの演算機能を実行することができます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **演算子** | **標準点字** | **点字表示** |
| 小数点記号 | . | 4-6の点 |
| 加算 | + | 3-4-6の点 |
| 減算 | - | 3-6の点 |
| 乗算 | \* | 1-6の点 |
| 除算 | / | 3-4の点 |
| イコール | =またはエンター | 1-2-3-4-5-6の点またはエンター（8の点）またはジョイスティック真ん中 |
| 左括弧 | ( | 1-2-3-5-6の点 |
| 右括弧 | ) | 2-3-4-5-6の点 |
| 消去 | バックスペースを押す | 7（7の点） |
| 現在の数字を削除 | スペース+d | 1-4-5の点+スペース |
| 全ての数字を削除 | スペース+バックスペース | 7+スペース |

例えば、『1+2』の結果を得たいならば、『1』、『+』、『2』を1つずつ押し、エンターを押します。数字は下がり数字で入力してください。すると、方程式および結果の『1+2=3』が表示されます。 もし、方程式や結果が長ければ、方程式や結果の全体を表示させるために、LBやRBを押します。新しく計算をするなら、新しい数字を直接入力して、古い方程式を自動的にクリアしてください。

もちろん使用した結果の「3」も、新しい方程式で使用できます。

もし、ネガティブ数字を入力したい場合は、マイナス（3-6）と数字を括弧の中に一緒に入力します。例えば、

例えば、あなたはマイナス、2を以下の方法で入力するべきである：‘-2’

\* 2.7.2 科学計算機能

科学計算機を使用すると、以下のようなより科学的な算術演算を実行できます。

exp(x)、ln(x)、log10(x)、sqrt(x)、cbrt(x)、sin(x)、cos(x)、tan(x)、pow(x,y)およびパーセント。

番号を入力してエンターを押すと結果が得られます。科学式を使用する場合は、左右の括弧を入力してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **演算子** | **標準点字** | **点字表示** |
| exp(x)  e^xを計算する  eはネイピアの基数 | e | 1-5の点 |
| ln(x)  自然対数, x>0 | n | 1-3-4-5の点 |
| log10(x)  10を底とする対数x> 0 | l | 1-2-3の点 |
| sqrt(x)  平方根　x> 0 | q | 1-2-3-4-5の点 |
| cbrt(x)  立方根関数 | u | 1-3-6の点 |
| sin(x)  三角関数のサイン関数 | s | 2-3-4の点 |
| cos(x)  三角余弦関数 | c | 1-4の点 |
| tan(x)  三角正接関数 | t | 2-3-4-5の点 |
| pow(x,y)  冪, x ^ yを計算する  y>0, y は整数 | p | 1-2-3-4の点 |
| パーセント | % | 1-4-6の点 |
| PI | y | 1-3-4-5-6の点 |

三角関数の場合は、ラジアンに「r」またはデフォルト、度に「d」を入力できます。 たとえば、ラジアンの場合、12 + sin(PI / 6)の結果を取得するには、 '1'、 '2'、および+を1つずつ押してから、sinの最初の文字を押します。 'sin(' が自動的に表示されます。ラジアンであれば 'r'を押してもしなくてもかまいません。 'y'、分割'/ '、' 6 'を押してからエンターを押します。 + sin(rPI / 6)= 12.5。パーセント演算では、最初に数字を入力し、数字を入力した直後にパーセント記号 '％'を入力すると結果が得られます。 たとえば、20 + 10％は20 + 2になり、2は20の10％なので、％記号を押すと22という数字が表示されます。 それで、あなたはあなたの答えに22を得ます。

2.8 ツール

ツールアプリケーションでは、お使いの機器の情報にアクセスできます。 ツールに入るにはエンターまたはジョイスティック右を押します。また、ツールメニューを開いている時に、スペース+m（スペース+1-3-4の点）を押すことで、本商品を消音にすることができます。また、スペース+r（1-2-3-5の点+スペース）で、初期設定に戻すことができます。

2.8.1 電源

つーる でんげん

この機能は、バッテリーの充電電源とバッテリー残量を表示します。 本商品が充電されていない場合は、 "電源 xx％"と表示されます。 バッテリーが15％より低い場合、本商品は8分ごとにミ-ラ-ドの3つのビープ音がなります。 ACアダプターまたはPCに接続されたUSBケーブルを接続すると、本商品はド-ミの2つのビープ音を鳴らし、「USB充電」を表示します。 バッテリーが完全に充電されると、本商品はド-ラ-ミの3つの音を鳴らし、「充電完了」を表示します。スペース+ e（1-5 +スペース）またはエンターまたはジョイスティックを左に押して終了します 。 電池残量が5％未満の場合、ファ-ミ-ラ-ドの4つのビープ音が鳴り、自動的にシャットダウンされます。 編集中のファイル "TEMP0000.TXT" はルートディレクトリに保存されます。

2.8.2 更新

つーる こーしん

この機能はファームウェアの更新を行います。 USBディスクにMINI\*\*\*\*.BINという更新ファイルをダウンロードし、本商品のUSBスロットに装着してください。 エンターを押すとミニはファームウェアを更新します。 更新にはおよそ8秒かかります。 更新が終了すると2度ビープ音が鳴り「pls restart」と表示されます。 ミニの電源を切って再起動してください。

注記1： 更新中にUSBディスクを取り外したりミニの電源を切ったりすると、本商品のファームウェアが壊れてしまいます。 注記2： 更新に失敗して本商品が再起動しなくなっても大丈夫です。 スペース+u（1-3-6の点+スペース）を押しながら電源を入れてください。 「更新」と表示されたら、エンターを押すと更新が開始されます。

2.8.3 テスト

つーる てすと

この機能では本商品の点字セル及びキーのテストを行うことができます。

この機能では自動的にすべてのピンを動かします。 スペース+e（1-5の点+スペース）を押すと終了できます。

2.8.4 情報

つーる じょーほー

この機能は現在使用中のプログラムのバージョン番号を表示します。 書式は「*.*\*\*」で、例えば「v1.001」のようになります。 スペース+e（1-5の点+スペース）またはジョイスティック左を押すと終了できます。

2.8.5 スリープモード設定

すりーぷもーどせってい

エンターまたはジョイスティック右を押してスリープまでの待ち時間を指定します。 ミニには「1minute」のように表示されます。 ジョイスティックの上またはジョイスティックの下を使用してスリープまでの待ち時間を指定できます。 5分のように選択したらエンターを押して新しい設定を有効化するか、スペース+e（1-5の点+スペース）またはジョイスティック左を押してキャンセルします。 スリープまでの待ち時間の初期値は1分です。 スリープまでの待ち時間は1分から30分の間で設定できます。

2.8.6 ヘルプ

つーる へるぷ

この機能ではマイクロSDカード内のヘルプドキュメントを表示します。 read機能のホットキーを使用してヘルプドキュメントを参照できます。 スペース+e（1-5の点+スペース）を押すと終了できます。

\*2.9　本商品とコンピュータ間のファイル転送  
この機能により、本商品とお使いのコンピュータ間でファイルを転送することができます。ファイルサイズの制限は1Mバイトです。お使いのコンピュータにTransfile（トランスファイル）プログラムを実行する必要があります。このプログラムTransfile.exeは、付属CDに収録されています。 Transfileプログラムは本商品のすべてのフォルダとファイルを表示できるので、ホットキーを使用してTransfileとコンピュータの間でファイルをコピーまたは貼り付けることができます。  
接続する場合は、本商品とUSBケーブルを繋げて、本商品を再起動し、ルートメニューでスペース+c（1-4 + スペース）を押して、本商品の接続を待ちます。コンピュータでトランスファイルを実行すると、接続が設定されます。接続が自動的に設定されていない場合は、Transfileプログラムの[接続]ボタンをクリックしてください。  
Windowsのプロパティキーを押して、ファイル操作リストをTranfileプログラムファイルリストツリーウィンドウに表示し、操作リストでコピーを選択してWindowsの名前を付けて保存ダイアログを開くことができます。

お使いのコンピュータのTransfileプログラムの機能とホットキー：  
Alt + F4：このプログラムを閉じます。  
タブ：プログラムパネルのフォーカスを切り替えます。  
Backスペース：上のディレクトリに戻ります。  
Enter：選択しているディレクトリを開きます。  
アップキー：前の項目を強調表示します。  
下キー：次の項目を強調表示します。  
Ctrl + c：ファイルをコンピュータのクリップボードにコピーする  
Ctrl + v：ファイルをディレクトリに貼り付けます。

1. Bluetooth接続の設定

このセクションではコンピューターにBluetoothをインストールして設定する方法を紹介します。

3.1 Bluetooth接続を設定する

Bluetoothは小規模通信を行うための無線技術です。

本商品のBluetooth機能では、USBケーブルなしで約10メートル（30フィート）圏内の機器と通信することができます。 本商品をBluetooth接続で使用するには、Bluetoothが有効化されたコンピューターとの接続を確立する必要があります。 ほとんどのラップトップ型コンピューターにはBluetoothが内蔵されています。以下は、本商品とコンピューターをBluetooth接続するための設定方法です。

* コンピューターと本商品をUSBケーブルで接続しないでください（ミニを充電する場合はUSBケーブルと電源アダプターを使用してください）。
* 本商品を起動し、セクション2.5の手順でミニのBluetoothを開いてください。
* コンピューターのBluetoothが有効になっていることを確認してください。
* 外付けのUSB Bluetoothアダプターを使用している場合は、コンピューターに装着されていることを確認してください。
* Windowsのデスクトップ上のBluetoothアイコンをダブルクリックしてBluetoothマネージャーを開き、Bluetooth機器を検索してください。この処理には数秒かかります。
* 検索が完了すると、本商品のBluetooth名、TSMがリストに現れます。
* リスト内のTSMを選択してください。
* コンピューターが本商品をみつけられない場合は、ミニの電源が入っていることを確認して再検索をお試しください。
* Bluetoothのパスコードを入力する編集フィールドに、0000を入力してください。
* 数秒後にBluetooth機器との接続が成功したことを知らせるメッセージと、入出力に割り当てられたCOMポートの情報が表示されます。
* スクリーン・リーダーが本商品とやり取りする際に使用しますので、出力ポートの番号をメモしておいてください。

これでスクリーン・リーダーで使用するCOMポートの設定をする準備ができました。 スクリーン・リーダーで使用するCOMポートを設定するには、JAWSは第4章を参照してください。

1. JAWSで本商品を使用する

4.1 JAWS用の清華パッチをインストールする

* CD内の「Patch for JAWS」フォルダを開きます。
* お使いのWindowsに対応したJAWSのパッチをインストールします。
* 初期設定を使用してパッチをインストールしてください。
* JAWSのパッチはJAWSユーティリティによって自動的にインストールされます。
* コンソールウインドウが表示されて数分かかることがあります。

4.2 JAWSを操作する

4.2.1 JAWSを設定する

JAWSを起動し「オプション」メニュー内の「点字」を選択します。 点字ディスプレイの初期設定が「点字なし」になっておりますので「ディスプレイの追加」ボタンまでタブキーで移動してエンターを押してください。 「ディスプレイの一覧」のダイアログボックスには点字ディスプレイの一覧が表示されています。 「清華」のところでスペースキーを押して選択してください。 タブキーで「次へ」ボタンまで移動してエンターキーを押します。 コンピューターに本商品をUSBケーブルで接続している場合、出力ポートとして「USB」を選択してください。 本商品にBluetoothを使用して接続している場合は「デバイス設定オプション」ダイアログボックスで出力ポートをチャプター3.2でメモしておいたCOMポート番号に設定し、タブで「次へ」ボタンに移動してエンターを押してください。 プライマリーデバイスを選択するプロンプトが表示されたら、プライマリーデバイスの一覧から「清華」を選択してください。 タブで「完了」ボタンまで移動してエンターを押してください。 「点字基本設定」ダイアログボックス内で「OK」ボタンまで移動し、それを押してください。 JAWSを再起動すると本商品が使用できます。

4.2.2 移動キーとコマンド

|  |  |
| --- | --- |
| **機能** | **キー** |
| エンター | 9A |
| エンター | RJ真ん中 |
| スペース | A |
| JAWSバックスペース | 9 |
| 上矢印キー | RJ上 |
| 下矢印キー | RJ下 |
| 左矢印キー | RJ左 |
| 右矢印キー | RJ右 |
| 点字表示を右にパン | RB |
| 点字表示を左にパン | LB |
| 読み上げを停止 | 9の点+RB |
| 点字をアクティブに移動 | LJ左+RJ上 |
| アクティブを点字に移動 | LJ左+RJ下 |
| 点字マーキング切替 | LJ真ん中+RJ上 |
| 点字の次の行 | LJ右 |
| 点字の前の行 | LJ左 |
| JAWSタスク一覧の開始 | LJ右+RJ上 |
| タスクトレイアイコンの一覧 | LJ右+RJ下 |
| 右マウスボタン | LJ右+RJ右 |
| 左マウスボタン | LJ右+RJ左 |
| 左マウスボタンロック | A+LJ右 |
| JAWSカーソルをPCカーソルに移動 | LJ右+RJ真ん中 |
| PCカーソルをJAWSカーソルに移動 | LJ左+RJ真ん中 |
| 点字の末尾 | LJ下 |
| 点字の先頭 | LJ上 |
| すべてのアプリケーションを最小化 | 9+LJ真ん中 |
| リンクを選択 | LJ下+RJ左 |
| フレームを選択 | LJ上上+RJ下 |
| 見出しを選択 | LJ上+RJ左 |
| フォームフィールドを選択 | LJ上+RJ右 |
| 8点点字に切り替え | A+LB |
| ファイルの末尾 | LJ上+RJ上 |
| ファイルの先頭 | LJ下+RJ下 |
| PCカーソル | RB+LJ右 |
| JAWSカーソル | RB+LJ左 |
| 点字モード切替 | LB+RB |
| 点字間隔を8ピクセルに切り替え | A+RB |
| 点字文字と属性を切り替え | LJ左+RJ左 |
| 点字マーキングオフ | 9+LB |
| 点字自動上級速度を上げる | LB+RJ真ん中 |
| 点字自動上級速度を下げる | LB+LJ真ん中 |
| JAWSページダウン | LJ下+RJ真ん中 |
| JAWSページアップ | LJ上+RJ真ん中 |
| 点字タブ | LJ真ん中+RJ右 |
| 点字シフトタブ | LJ真ん中+RJ左 |
| 次のドキュメントウインドウ | RB+LJ下 |
| 前のドキュメントウインドウ | RB+LJ上 |
| 点字をアクティブカーソルに移動 | RB+LJ真ん中 |
| 点字テキストを選択 | RJ真ん中+Routing |
| 最後のフラッシュメッセージの繰り返し | LJ下+RJ上 |
| 点字自動上級 | LJ下+RJ右 |

4.3 JAWSのパッチのアンインストール

注記： JAWSのパッチをアンインストールした場合、JAWSを本商品で使用できなくなり、関連のあるパッチファイルはすべて削除されます。 JAWSをアンインストールする前にこのパッチをアンインストールする必要があります。

4.3.1 古いバージョンの清華のJAWSパッチをアンインストールする

「コントロールパネル」内の「プログラムと機能」を開き、以下のいずれかを選択してアンインストールを行ってください。

* 「Seika Braille Display version 3」
* 「Seika Patch for JAWS V1.x」
* 「Seika Patch for JAWS V2.x」

指示に従って項目をアンインストールしてください。 アンインストールには数分かかることがあります。 アンインストールが完了したらコンピューターを再起動してください。

4.3.2 現バージョンのJAWSの清華パッチをアンインストールする

「コントロールパネル」内の「プログラムと機能」を開き、「Seika Patch for JAWS V2.3」という項目を選択します。 指示に従って「Seika Patch for JAWS V2.3」をアンインストールしてください。 アンインストールには数分かかることがあります。 アンインストールが完了したらコンピューターを再起動してください。

1. VoiceOverで本商品を使う

5.1 iPadまたはiPhoneのVoiceOverを使う

* コンピューターと本商品をUSBケーブルで接続しないでください（ミニを充電する場合はUSBケーブルと電源アダプターを使用してください）。
* 本商品を起動し、セクション2.5の手順でミニのBluetoothを開いてください。
* ミニのBluetoothが起動すると、ミニは「接続中」と表示し、2秒後に「ブルートゥーtsm \*\*\*\*（\*はBluetoothのシリアル番号）」と表示します。

1. 本商品の電源を入れ、移動キーを使ってBluetooth接続オプションに入り、TSM \*\*\*\*が表示されるまで1秒ほど待ちます
2. iPhoneのBluetooth接続がOffになっていることを確認してください。Onになっている場合はOffにしてください。
3. 以下の手順でVoiceOverを有効化してください：
   * iPhoneの設定
   * 一般
   * アクセシビリティ
   * VoiceOver

これでVoiceOverが起動します。 iPhoneの読み上げが有効になり、VoiceOverモードに入りましたので、指でiPhoneの画面をスワイプしてオプションを選択する必要があります。 機能を実行するにはダブルクリックしてください。

1. 以下の手順で点字ディスプレイを有効化してください：
   * VoiceOver
   * 点字

"BluetoothはOffです 点字デバイスを使用するにはBluetoothが必要ですBluetoothをOnにしますか？"というプロンプトが表示されます。 「いいえ」、「はい」の選択肢がありますので指で「はい」をダブルクリックして選択してください。

1. iPhoneがミニを検出するまで1から3分ほどかかることがあります。 iPhoneはミニやその他のディスプレイをはじめとした周辺のBluetooth機器を検索します。 Bluetooth機器"TSM \*\*\*\*"が検出された場合、それをダブルクリックして表示されるプロンプトにピンコード"0000"を入力して「ペアリング」ボタンを押します。 これで接続が完了します。

"TSM \*\*\*\*"が検出されなければ、もう一度最初のステップに戻ってやり直してください。

接続がすでに正常に設定されている場合は、高速で接続ができる方法があります。 本商品の電源を入れた後は、どのキーにも触れないでください。本商品はBluetoothを開き、接続を待つので、VoiceOverを起動して接続を設定することができます。 iPhoneまたはiPadがスリープ状態または通信範囲外の場合、または本商品を再起動すると、接続が切断される可能性があります。 VoiceOver - >点字 - >点字ディスプレイの選択でTSM xxxxをダブルクリックして、接続を再度設定できます。2台のiOS機器の接続を本商品に切り替えたい場合は、1台のiOS機器をスリープ状態にして本商品が接続を待機します。その後、他のiOSデバイスを起動して、VoiceOverでTSM xxxxをダブルクリック - >点字 - >点字ディスプレイを選択すると、このiOSデバイスとの接続が設定されます。

デフォルトでは、VoiceOverは縮小されていない8点の点字を表示します。このモードでは、VoiceOverは点字ディスプレイに入力した各文字とデジタルを点字出力に自動的に変換します。代わりに8点点字をオフにして、縮小されていない6点点字を使用することができます。このモードでは、VoiceOverは点字ディスプレイに入力した各単語を、単語が完成したと判断した後、または点字ディスプレイのスペースバーを押した後に、自動的に点字出力に変換します。

5.2 Mac OS XコンピューターのVoiceOverを使用する

* コンピューターと本商品をUSBケーブルで接続しないでください（ミニを充電する場合はUSBケーブルと電源アダプターを使用してください）。
* 本商品を起動し、セクション2.5の手順でミニのBluetoothを開いてください。
* VoiceOverユーティリティを起動してください。
* 左側の"点字"タブをクリックします。
* "ディスプレイ"タブをクリックします。
* 点字ディスプレイのBluetooth名が点字ディスプレイ一覧に表示されます。
* デバイス一覧にTSMで始まる物があります。
* そのデバイス名をクリックして選択し、ペアリングを開始してください。
* パスコードを入力するスクリーンが表示されたら、パスコード0000を入力してください。

5.3 移動キーとコマンド

注記: iOS6またはそれ以上のVoiceOverで点字ディスプレイを使用している場合は以下の移動用コマンドが使用できます。

VoiceOver移動用の点字ディスプレイ用共通コマンド

|  |  |
| --- | --- |
| **機能** | **キー** |
| 前の項目に移動 | 1の点+スペース |
| 次の項目に移動 | 4の点+スペース |
| ローター設定を使用して前の項目に移動 | 3の点+スペース |
| ローター設定を使用して次の項目に移動 | 6 + スペース |
| 前のローター設定を選択 | 2-3の点+スペース |
| 次のローター設定を選択 | 5-6 + スペース |
| 最初の要素に移動 | 1-2-3の点+スペース |
| 最後の要素に移動 | 4-5-6+ スペース |
| 選択した項目からページを読み上げ | 1-2-3-5の点+スペース |
| 上からページを読み上げ | 2-4-5-6+ スペース |
| ホームボタンをアクティベート | 1-2-5+スペース |
| ステータスバーに移動 | 2-3-4の点+スペース |
| 音量を上げるボタンをアクティベート | 3-4-5の点+スペース |
| 音量を下げるボタンをアクティベート | 1-2-6の点+スペース |
| 現在のコンテキストをエスケープ | 1-2の点+スペース |
| 取り出しキー | 1-4-6 + スペース |
| デリートキー | 7の点+スペース |
| デリートキー | 1-4-5の点+スペース |
| リターンキーまたはエンターキー | 8の点+スペース |
| リターンキーまたはエンターキー | 1-5の点+スペース |
| タブキーをアクティベートする | 2-3-4-5の点+スペース |
| スクリーンカーテンをOn Offする | 1-2-3-4-5-6の点+スペース |
| 読み上げを一時停止または再開する | 1-2-3-4の点+スペース |
| 読み上げをOn Offする | 1-3-4の点+スペース |
| 表示されているページ番号や行を読み上げ | 3-4の点+スペース |
| 1ページ上にスクロールする | 3-4-5-6+スペース |
| 1ページ下にスクロールする | 1-4-5-6+スペース |
| 1ページ左にスクロールする | 2-4-6の点+スペース |
| 1ページ右にスクロールする | 1-3-5の点+スペース |
| テキストを外す | 2-3-5の点+ スペース |
| テキストを選択する | 2-5-6の点 + スペース |
| すべて選択 | 2-3-5-6+スペース |
| カット | 1-3-4-6+スペース |
| コピー | 1-4+スペース |
| ペースト | 1-2-3-6+スペース |
| 入力を元に戻す | 1-3-5-6+スペース |
| やり直し | 2-3-4-6+スペース |
| 点字ディスプレイを左にパンする | 2の点+スペース |
| 点字ディスプレイを右にパンする | 5の点+スペース |
| 通知センターへ | 4-6+ スペース |
| コントロールセンターに行きます | 2-5+スペース |
| 告知履歴の切り替え | 1-3-4-5 + スペース |
| 契約点字と非契約点字の切り替え | 1-2-4-5 + スペース |
| 前のコンテナに移動する（iPadのみ） | 1-7+スペース |
| 次のコンテナに移動する（iPadのみ） | 4-7+スペース |

VoiceOverナビゲーション用のデバイスキー：

|  |  |
| --- | --- |
| 機能 | キー |
| 点字ディスプレイを左にパンする | LB |
| 点字ディスプレイを右にパンする | RB |
| 指の下の項目を選択 | LJ真ん中 |
| 前の項目に移動 | LJ\_左 |
| 次の項目に移動する | LJ\_右 |
| 前の項目に移動 | LJ上 |
| ローター設定を使用して次の項目に移動 | LJ下 |
| 指の下の項目を選択 | RJ真ん中 |
| 前の項目に移動 | RJ左 |
| 次の項目に移動 | RJ右 |
| ローター設定を使用して前の項目に移動 | RJ上 |
| ローター設定を使用して次の項目に移動 | RJ下 |
| 選択項目をダブルタップまたは計算式内で選択した箇所にローターを移動 | タッチカーソル |
| 拡張ステータスの説明を切り替える | ステータスルーター |

1. NVDAで本商品を使用する

6.1 点字デバイスのペアリング

本商品を使用するにはNVDA 2012.2以降のバージョンをインストールしてください。

* Windowsのスタートボタンをクリックします
* 「すべてのプログラム」、「NVDA」、「NVDAユーザー設定ディレクトリーを開く」の順にクリックします
* "brailleDisplayDrivers"ディレクトリーに移動し、本商品.zip内のすべてのファイルを解凍してコピーします
* その後にNVDAを実行すると、点字ディスプレイの一覧に「Seika Mini Notetaker」という項目がみつかります

6.2 点字コマンド

|  |  |
| --- | --- |
| **機能** | **キー** |
| 点字表示を前にスクロール | LB |
| 点字表示を後にスクロール | RB |
| 点字表示を前の行に移動 | LJ上 |
| 点字表示を次の行に移動 | LJ下 |
| 点字セル移動モードの切り替え | LJ真ん中 |
| すべて読み上げ | スペース+バックスペース |
| NVDA メニュー | RB+LB |
| tab | LJ右 |
| shift+tab | LJ左 |
| 上矢印 | RJ上 |
| 下矢印 | RJ下 |
| 左矢印 | RJ左 |
| 右矢印 | RJ右 |
| エンター | RJ真ん中 |
| shift+上矢印 | スペース+RJ上 |
| shift+下矢印 | スペース+RJ下 |
| shift+左矢印 | スペース+RJ左 |
| shift+右矢印 | スペース+RJ右 |
| escape | スペース+RJ真ん中 |
| shift+上矢印 | バックスペース+RJ上 |
| shift+下矢印 | バックスペース+RJ下 |
| shift+左矢印 | バックスペース+RJ左 |
| shift+右矢印 | バックスペース+RJ右 |
| windows | バックスペース+RJ真ん中 |
| スペース | スペース |
| バックスペース | バックスペース |
| Page up | スペース+ LJ\_Right |
| Page 下 | スペース+LJ\_左 |
| Home | スペース+LJ\_UP |
| End | スペース+LJ\_下 |
| Control+home | バックスペース+LJ\_UP |
| Control+end | バックスペース+LJ\_下 |
| エンター | スペース+dot8 |